

はしがき

「生活×リスクマネジメント×デザイン」をテーマにして本書はまとめられている。

生活リスクマネジメントの権威である奈良由美子教授は、「生活者による生活リスクマネジメントは、生活上のリスクとその悪影響を、計画的で効率的な資源の獲得や分配をもって小さくしようとするもの」と定義した。そして、その目的を「生活の安全・安心を確保することによって生活のよりよさの実現に資すること」とした（奈良由美子『改訂版 生活リスクマネジメント』放送大学教育振興会、2017年、98-99頁）。

一方、コミュニティデザインの専門家である山崎亮教授の言葉を借りれば、デザインとは、「課題の本質を掴み、それを美しく解決すること」である。また、生活上のリスクに直面する私たちがそれに対応するきっかけを作るのが生活リスクマネジメントのデザインだと考える（山崎亮『コミュニティデザイン』学芸出版社、2011年、235頁）。このような意味合いで、本書ではデザインという言葉を使っている。

本書をまとめるうえでヒントを得たのが、2018年1月31日と2月1日にロンドンにあるロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）で開催された Design for Safety（安全のためのデザイン）というシンポジウムである。「アート・デザイン部門」で世界大学ランキング第1位のRCAでは、インダストリアル・デザイン分野のアッシュレー・ホール（Ashley Hall）教授らが中心となって、船舶やテムズ川の安全をデザインすることに取り組んできた。筆者は、そのワークショップに、Design for Safetyの実例として「スーパーフェンス」（高槻市・港製器工業）の小型見本を持参して参加した。これは地震で倒壊する危険性のある古いブロック塀を代替する「木の塀」である。

「安全のためのデザイン」については、安全な街づくり、機械の安全設計、安全標識・ピクトグラムなどさまざまな分野がすでにあるが、RCAの取り組みなどで、より一般化していくことが期待される。この流れを受けて、本書では Design for Risk Management（RM）という考え方を着想した。

こうした考え方をベースに、本書は、関西大学における3つの講義の教科書となるように編集した。共通科目「学生生活とリスク」、社会安全学部寄付講座（日新火災海上保険株式会社、株式会社アドバンスクリエイト）「安全・安心な社会を支える保険制度」、社会安全学部「経営学概論」である。

まことに拙い内容だが、本書がリスクマネジメントの学習者に参考になれば幸いである。出版にあたっては、日新火災海上保険(株)、(株)アドバンスクリエイト、大森勉さん、安生誠さん、辻廣道さんをはじめとする多くの方にお世話になった。心より感謝申し上げたい。

2018年2月

亀井克之

第2版のためのはしがき

2020年、私たちは新型コロナウイルス感染症という未曾有のリスクに直面している。まさしく生活リスクマネジメントが全世界で展開されている。どのような環境や条件（ハザード）で感染するのか。感染の拡大によってどのような損失（ロス）がもたらされるのか。感染拡大の可能性（リスク）や感染による危機（クライシス）をどのように制御（マネジメント）するのか。人類の英知を結集して、社会全体で連携してリスクコントロールすることが求められている。

初版では、高槻市の港製器工業が開発した「木の塀」（スーパーフェンス）を紹介する形で、老朽化したブロック塀の危険性について取り上げた。ところが、初版を刊行した翌月の2018年6月18日に大阪府北部地震が発生し、同じ高槻市の小学校で、ブロック塀が倒壊し、小学生の女子児童が犠牲になるという悲劇が発生してしまった。

第2版では、初版に全面的に加筆し、修正を施した。まことに拙い内容であるが、本書が読者の皆様に何らかの参考になれば幸いである。

2020年5月

亀井克之

Grand Design for Risk Management

リスクを伴う決断を支える「リスク感性」の向上

- ① 異文化体験
- ② 異なる分野・立場・年代の人との交流
- ③ 芸術に触れること（絵画・映画・演劇を観る，文学を読む，詩を読む，音楽を聴く）
- ④ 歴史上の人物が，リスクに直面したとき，いかなる決断をしたかを学習

USJのアクション・コード

Decide Now. Do it Now. …… 今決めよう。今しよう。
 Everything is possible. …… あらゆることには可能性がある。
 Swing the bat! …… バットを振ろう！（行動に移そう）

リスクマネジメントの「リ」論

【リスクの「リ」——ジレンマ（決断の分かれ道）】

先送り……………先送りする ↔ 今すぐ実行する
 縦割り……………縦割りで全体のリスクが見えない ↔ 横のつながりを持つ
 偽り……………嘘についてそれが発覚 ↔ 指摘される前に正直に公表
 見て見ぬふり…「否認」 ↔ 都合の悪い事実を受け入れる 聴く耳を持つ
 先走り……………不確かな情報に基づいて行動 ↔ 確かな想定に基づく対応
 ひとりよがり…自分勝手 ↔ 人の意見を聴く
 ひきこもり……………孤立，視野が狭い，大局観の欠如 ↔ 人との交流，
 リスク感性を磨く
 焦り……………焦り・あわて ↔ 落ち着く，時間管理

【リスク対応の「リ」——リスベクト（大切にする）】

つながり……………横のつながり，風通しのよい組織
 思いやり……………目配り，気配り，周囲の人へのリスベクト
 段取り……………3つの定：特定・想定・決定
 語り……………話し合い，共通理解
 めくもり・手触り・彩り・香り…自分の5感（目・耳・口・鼻・指），癒し
 悟り……………落ち着く
 ふりかえり……………失敗に学ぶ，災害の教訓に学ぶ
 眠り……………しっかり眠り休息する
 走り・踊り……………運動
 きらりと感性のひかり…リスク感性，決断力